

分野	教育	施策	生涯学習			
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P87		
施策の展開（大項目）	1学び続ける機会づくり					
KPI (指標)	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	82.3%	84.7%		90.0%
KPI (指標)	家庭教育学級アンケートにて「今後の暮らしに生かせる」と回答した受講者の割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—	61.8%		R3年度より増加
KPI (指標)	行政編受講者アンケートにて「非常に満足」と回答した割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	54.0%	71.4%	75.0%		R3年度より増加
KPI (指標)	研修会参加者アンケートにて「学びの場となった」と回答した割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—	—		R3年度より増加
KPI (指標)	歴史・文化財に係る講座参加者数（延べ人数）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	113人	88人	49人		200人
KPI (指標)	本市に関連した歴史資料保存数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	39,000点	40,000点	41,000点		45,000点

中項目	1多様な学習機会の充実		分野計画参照ページ	P23
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
生涯学習出前講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・まいどおおきに出前講座を次のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■行政編8件（前年度比+1件） ■市民編0件（前年度比-1件） ■消防署による講座97件（前年度比+11件） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、行政編は申込11件のうち3件、市民編は申込1件のうち1件が申込取消となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政編受講者の満足度は増加しており、その要因はコロナ禍でも市民の皆様への学習機会の拡充に貢献した為と考えられる。 ・防災危機管理課の『みんなの防災』や消防署の『防火防災訓練』等、出前講座のニーズは高いことから、引き続き実施していく。 		
生涯学習推進本部運営事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により「生涯学習推進本部担当者会」を中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、実施に向けた取組が必要である。 		
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を反映しながら、「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸能」7分野における講座を実施した。 ・全ての市立公民館での公民館講座実施回数は263回（前年度比+60回）で、受講者は3,216人（前年度比+905人）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化や芸術等に関する講座の受講者が多い傾向にある。 ・引き続き、市民の声を反映しながら、ニーズに合致した講座を開催していく。 		
家庭教育学級事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級（※）6学級（学級生数：59人）が、リトミックやケーキ作り等の学習会を58回開催した。（前年度比-2回） ・親学習リーダー（家庭教育学級など、子育てについての学び合いの場において、進行役となる人）に府研修会等の情報を提供した。 <p>（※）子どもを持つ親や夫婦、地域の女性等、大人の学びの場として開設する学級</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学習会の開催が減少したが、引き続き、学習会を開催することで子育てについての学びの機会を提供していく。 		
文化財保護事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を適切に保護するとともに、摂津市の歴史を後世に伝えるため「ふるさと摂津講座」を開催し、49人が参加した（前年度比-39人）。 ・ふるさと摂津案内人養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと摂津講座は、新型コロナウイルスの影響により実施回数が減少したこと及び参加定員を半減したことにより参加者数が減少している。 ・引き続き、コロナ禍における開催方法を検討していく必要がある。 		
摂津市史編さん事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の収集・整理・保存を実施し、41,000点の保存を終えた。（前年度実績：40,000点） ・『新修摂津市史 自然地理・先史・古代・中世編』第1巻を刊行した。 ・令和4年度刊行に向け、『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻の原稿を入稿し、初校まで完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、『新修摂津市史』刊行に関連した聞き取り調査や博物館・図書館等での資料調査に支障が出ているため、必要に応じてスケジュールの見直しを検討していく必要がある。 		

分野	教育	施策	生涯学習			
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P87		
施策の展開（大項目）	2学びを支える環境づくり					
KPI (指標)	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—	85.7%		90.0%
KPI (指標)	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	82.3%	84.7%		90.0%
KPI (指標)	子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	27.4%	25.2%	23.9%		R元年度より増加
KPI (指標)	生涯学習フェスティバル参加団体アンケートにて「活動の成果を発揮できた」と回答した割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—	92.3%		R3年度より増加
KPI (指標)	こどもフェスティバル参加者数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	13,000人	—	—		R元年度より増加

中項目	1学習効果の発表・活躍の場の充実	分野計画参照ページ	P25
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察	
生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」については規模を縮小し、9月11日に「ペットボトルアート作品展」を開催するとともに、「ペットボトルアート写真コンクール」を開催した。 10月に「コロナ過の市民活動及び福祉について考える」をテーマに「生涯学習市民のつどい」を開催し、43人が来場した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」及び「生涯学習市民のつどい」を実施する。 市民活動の活性や意欲を向上させるため、新規役員を増やす方法や新しい取組について検討するなど、実行委員会の自立を促していく必要がある。 	
公民館まつり事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、まつり実行委員会で中止の判断がなされたが、代替の取組として、作品展示やスライドショーを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での実施に向けて、開催方法を検討していく必要がある。 	
こどもフェスティバル開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、準備期間や参加者の安全を考慮し、実行委員会の判断により中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での実施に向けて、開催方法を検討していく必要がある。 市民活動の活性や意欲を向上させるため、新規役員を増やす方法や新しい取組について検討するなど、実行委員会の自立を促していく必要がある。 	

中項目	2社会教育施設の活用 ※一部、「子ども読書活動推進計画」の内容を含む	分野計画参照ページ	P25
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察	
公民館運営事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 全ての市立公民館で図書の入替作業及び新規購入を行い、計6,478冊（前年度比-183冊）の図書を貸し出した。 安威川公民館で空室の一部を自習室として開放することを検討した。 公民館の利用件数は、次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■安威川公民館 1,290件（前年度比+272件） ■千里丘公民館 1,036件（前年度比+154件） ■新鳥飼公民館 1,850件（前年度比+248件） ■味生公民館 793件（前年度比+73件） ■鳥飼東公民館 906件（前年度比+72件） 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の貸出件数は減少しており、入替や新規購入を行い、図書の充実を図る必要がある。 空室の開放については、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら感染防止策を講じたうえで進めていく必要がある。 	
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を反映しながら、「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸能」7分野おける講座を実施した。全ての市立公民館での公民館講座実施回数は263回（前年度比+60回）で、受講者は3,216人（前年度比+905人）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化や芸術等に関する講座の受講者が多い傾向にある。 引き続き、市民の声を反映しながら、ニーズに合致した講座を開催していく。 	
図書館運営事業 鳥飼図書センター運営事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 4月から6月の間の緊急事態宣言時は図書館が完全休館の対応になったが、休館中も予約資料の貸出を実施した。 図書の貸出冊数は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■市民図書館 247,321冊（前年度比+33,102冊） ■鳥飼図書センター 57,743冊（前年度比+6,705冊） 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き感染症予防対策を講じると共に、新たな生活様式に対応した、図書館の有効活用と図書館サービスの充実に向けた取組の実施が必要である。 	

<p>子ども読書活動推進事業 生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を83回（前年度比+11回）実施し、延べ440人（前年度比+175人）が参加した。 ・ぬいぐるみお泊り会を開催し、計34人（前年度比+6人）が参加した。 ・図書館等協議会委員の提案により、年1回実施であった「本の福袋」を2回実施し、106袋（前年度比+32袋）を貸し出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大による影響や、子育て、高齢、障害等により来館できない場合に、図書館資料が利用しやすい仕組みづくりが必要である。 ・図書館に来館できない期間があったため、利用登録者数が全体的に減少した。児童の登録率増加を目指し、図書館と学校等が連携して新しい取組を実施していく必要がある。
<p>母子健康診査事業 出産育児課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診時に、ブックスタート事業として、絵本を紹介するとともに、受診者に1冊ずつ配付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の感性を育むため、引き続き、ブックスタート事業を実施する。 ・絵本の配付だけでなく、様々な制度やつどいの広場の案内等、地域資源をより一層を周知していく必要がある。
<p>地域子育て支援拠点事業 出産育児課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター・かるがも広場の利用者に絵本を貸し出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で実施できなかったが、絵本の読み聞かせ等、乳幼児期から本に触れられる機会を設ける。
<p>市立児童センター運営事業 子育て支援課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や読書を希望する児童に対して図書室を開放した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターの設置目的や事業目的を踏まえ、どのような施策展開が可能か検討を行っていく必要がある。
<p>認定こども園管理運営事業 幼稚園管理運営事業 こども教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続いたが、1園で学期に1回市民図書館を利用した。 ・利用できなかった園では、鳥飼図書センターからリサイクルブックの寄贈を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替策として本の寄贈を受けることで、園児たちが多くの本に触れる機会を設けられているため、引き続き、図書館との連携を進めていく。
<p>学校読書活動推進事業 学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊の平置きや、注目度の高い作品のポップ作成等、学校図書館の環境を整え、児童生徒が本と出会う機会を増やすとともに、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進サポーターを全小学校に配置した。 ・市立図書館と連携し、市民図書館の蔵書を借りるなどの取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進サポーターの取組により、子どもの読書意欲を高め、親しみやすい学校図書館となるよう、市立図書館との連携などを通して引き続き整備していく。
<p>小中学校管理運営事業 教育政策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校15校で約5,000冊の図書を新規購入するとともに、約1,000冊の寄贈を受けた。 ・状態が劣化した図書を約3,800冊廃棄した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新たな図書の購入、状態が劣化した図書の廃棄や更新等を行い、学校図書館整備の充実を図る。
<p>男女共同参画センター管理事業 人権女性政策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターで、男女共同参画に関連する学習資料の書籍・DVDの貸出を行い、延べ684人が利用した。 ・男女共同参画社会の啓発に向け、新たに図書を10,970冊とDVDを1本購入し、DVD24本（前年度比-12本）、図書1,516冊（前年度比-657冊）を貸し出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、男女共同参画を推し進める当センターが市民に広く提供したい書籍のPRを行う。 ・児童書の蔵書割合が8.4%となっており、男女共同参画を発達段階に応じ学ぶ為にも充実が求められる。

分野	教育	施策	生涯学習	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P87

施策の展開（大項目）	3学びを活かす人づくり					
KPI (指標)	青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて「体験学習を通じて学んだことを友人や家族に教えたい、活かしたいと思う」と答えた割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—	—	—	R3年度より増加
KPI (指標)	淀川わいわいガヤガヤ祭の来場者数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	6,500人	—	—	—	R元年度より増加
KPI (指標)	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」「今後、地域や社会活動に役立てたい」と回答した割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—	100%	—	R3年度より増加

中項目	1多様な主体による指導者の育成		分野計画参照ページ	P27
関連する主な事業	令和3年度の取組実績		分析・考察	
青少年リーダー養成事業 生涯学習課	・夏、冬のチャレンジャークラブ及び冒険プログラム講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。		・新型コロナウイルス感染症の影響により、野外体験活動が難しい状況であったが、引き続き感染防止策と共に、新しい生活様式への対応を講じながら実施に向けた取組が必要である。	
青少年団体体育成事業 生涯学習課	・子供会育成協議会、ガールスカウト、ボーイスカウト等、地域で主体的に活動する団体の取組について支援を行った。各団体が行う市単位の活動は子どもたちが異なる学年や校区と交流する機会に繋がり、また保護者、指導者にとっても交流や情報交換の場となった。 ・「淀川わいわいガヤガヤ祭」は新型コロナウイルス感染症の影響により実行委員会の判断で中止となった。		・新型コロナウイルス感染症の影響により、野外体験活動が大幅に減少したが、引き続き感染防止策をとりながら、各団体への支援や「淀川わいわいガヤガヤ祭」実施に向けた取組が必要である。 ・市民活動の活性や意欲を向上させるため、実行委員会の自立を促す取組を検討する。	
せつつ生涯学習大学事業 生涯学習課	・せつつ生涯学習大学を全13回開催し、5人（前年度比-2人）が受講するとともに、単発で計17人（前年度比+13人）が受講した。 ・せつつ生涯学習大学院を全3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。		・新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者が例年より減少したが、引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供に向け、生涯学習大学を開催する。	

分野	教育	施策	学校教育	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略参照ページ	P89

施策の展開（大項目）	1豊かな心を育む教育					
KPI（指標）	「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童生徒（割合）の対全国比					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	小学校0.91、中学校0.94	—	小学校0.98、中学校0.98		小学校1.00、中学校1.00
KPI（指標）	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合（小6・中3平均）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	68.0%	—	69.5%		77.7%

中項目	1道徳教育の推進		分野計画参照ページ	P11
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
研修事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招き、授業づくりについての研修を行った。その研修を踏まえ、道徳教育推進教師が自校にて伝達講習として研究授業を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、小中学校での「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の充実のため、道徳教育推進教師等を対象とした授業づくりの研修や研究授業等を実施して、指導力向上を図る。 	

中項目	2人権教育の推進		分野計画参照ページ	P11
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
教職員人権問題研修事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府教育庁指導主事や大学教授等を講師として招き、市内小中学校の教員に対して障がい理解教育及びLGBTQ、同和教育についての研修をそれぞれ1回実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、教員の意識の高揚に向け、人権研修を実施していく。 児童生徒に対して、人権問題の理解を深める学習を充実させていく。 	
国際理解教育推進事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における多文化共生・国際理解教育の推進に向け、国際理解社会人講師2人を11校（前年度比-1校）に派遣した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、講師を活用した総合的な学習の時間等の授業を実施していく。 	

日本語指導教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を母語とする児童生徒に対する学習保障及びアイデンティティの育成に向け、日本語指導講師10人が、外国語を母語とする33名の児童生徒に、日本語習得のため指導を行うとともに、保護者への言語支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導を必要とする児童生徒及びその保護者の状況に鑑み、令和4年度より派遣時数を拡充した。
学校教育課		

中項目	3読書活動の推進		分野計画参照ページ	P11
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
学校読書活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊の平置きや、注目度の高い作品のポップ作成等、学校図書館の環境を整え、児童生徒が本と出会う機会を増やすとともに、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進サポーターを全小学校に配置した。 ・市立図書館と連携し、市民図書館の蔵書を借りるなどの取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学級担任が読書サポーターと連携することにより、読書活動を推進し子どもの豊かな心を育成する。 		
小中学校管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校15校で約5,000冊の図書を新規購入するとともに、約1,000冊の寄贈を受けた。 ・状態が劣化した図書を約3,800冊廃棄した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新たな図書の購入、状態が劣化した図書の廃棄や更新等を行い、学校図書館整備の充実を図る。 		
教育政策課				

分野	教育	施策	学校教育	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略参照ページ	P89

施策の展開（大項目）	2確かな学力を育む教育					
KPI（指標）	全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	小学校0.91、中学校0.93	—	小学校0.97、中学校0.95		小学校1.00、中学校1.00
KPI（指標）	「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合（小6・中3平均）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	63.6%	—	72.2%		73.5%

中項目	1授業改善の推進		分野計画参照ページ	P13
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
学力向上推進事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校において、摂津市学力定着度調査及び府チャレンジテスト等の結果分析を踏まえた授業改善や、反復学習、家庭教育の推進等を実施した。 中学校では、チャレンジテストの問題を分析するとともに、ICTを効果的に活用した指導を実施した。 各小中学校において、学力向上プランを作成し、学習規律や主体的な学びなど、それぞれの学習課題に正対した学力向上の取組を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 摂津市学力定着度テスト等の結果では、小中学校の国語や算数・数学の平均正答率が同一学年経年で比較すると向上している。 引き続き、市教委が学校訪問でのヒアリングを通して進捗状況を確認し、指導助言を行うことで、各校の学力向上プランが計画的に進められるよう支援する。 	
学校マネジメント支援事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 摂津市の重点課題（学力向上、教科横断的な学び、学習評価の充実）に取り組む市内の4小中学校を研究重点校とし、研究計画の策定から研究授業・研究協議の実施に至るまでの支援を行った。 市内全小中学校で研究発表会を実施する際に講師を派遣するなどの支援を行った。 学校における学習活動を支援する学習サポーターを各小中学校に派遣した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市内全小中学校で研究発表会等を実施し、小中学校で教職員の授業研究に対する意識を向上させる。 引き続き、学習サポーターを派遣し、個別対応が必要な児童生徒への対応を支援していく。 	
小学校中学校教育用コンピューター事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想の延長として、集音マイク付スピーカーやiPadスタンド等、オンライン授業用の機器を整備した。 ICT機器を活用した授業での指導力向上のための研修を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ICT教育推進リーダー教員を中心に取り組んだICT機器の活用事例を発信するとともに効果的な活用の研究を市内小中学校で推進する。 新たにプログラミング教材を整備し、プログラミング教育を推進する。 	

研修事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領への対応や学校経営、授業づくり等、教職員の資質向上に向けたサマーセミナーを5回（前年度比+3回）、ウインターセミナーを3回（前年度比-4回）開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実践的な力を育成できる研修を進めていく。 ・ミドルリーダー育成のため、指導教諭等、各校で人材育成の核となる教員に焦点化した研修を進める。
学校教育相談員配置事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の浅い教職員の資質向上をはじめ、授業力・学級経営力の向上や生徒指導等、学校における諸課題への指導助言を行うため、学校教育相談員3人と教育指導嘱託員1人が巡回指導や拠点校指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は13人の初任者が配置されており、経験の浅い教員が増加しているため、引き続き、学校教育相談員等による指導等を行うことで、各校での人材育成を支援する。

中項目	2学習内容・学習習慣の定着		分野計画参照ページ	P13
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
学力向上推進事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津SUNSUN塾を市内6会場（前年度比+1会場）で、小6から中3までを対象に実施し、延べ317名（前年度比+20名）が参加した。また、中3を対象に夏期・冬期講習を実施し、延べ66名が参加した。 ・小中学校が連携し、中学校のテスト期間中に児童生徒自らが学習計画を立て自主的な学習を実施する家庭学習ウィークを設定し、学習習慣の定着を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭で連携した取組により家庭学習の時間が1日1時間以上の児童の割合が78.6%（令和元年度比+0.9%）となっており、学習習慣の定着につながっている。 ・引き続き、摂津SUNSUN塾及び家庭学習ウィークの実施等により家庭学習を推進する。 ※令和2年度はコロナ禍のためアンケート未実施 		
学校マネジメント支援事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における学習活動を支援する学習サポーター81人を各校に派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学習サポーターを派遣し、個別対応を必要とする児童生徒に支援していく。 		

中項目	3就学前教育・小中一貫教育の推進		分野計画参照ページ	P13
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
就学前教育推進事業 こども教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭・小学校教員等を対象とした就学前教育研修会を2回（前年度比+2回）実施した。 ・就学前施設と小学校の連携の一環として、園児が校庭等の屋外探検や遊具で遊ぶなどの幼小交流会を実施した。 ・小学校教諭による公立園の随時参観を実施した。 ・小学校教員・就学前施設職員を対象に、就学前教育に関するアンケートを実施した。 ・小学校長及び私立園長を訪問し、就学前教育に関する意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に関しては、幼小連携・接続期に関する内容を組み入れ、実施していく。 ・アンケート結果から、小学校教員と就学前施設職員双方が小学校入学前後の課題として挙げているのは、「人の話を聞く」「自分のことは自分でする」「身の回りの整理整頓」であった。 ・また、「思考力・探求力の育成」「語彙力向上の取組」等については、双方で認識の異なる点が明らかになっており、研修の中で就学前施設職員と小学校教員が課題について意見交換できるような場を設ける必要がある。 ・就学前と小学校進学接続期の円滑な移行を図るため、幼小交流会は、年度前半に小学校と就学前施設双方の見学や参観を行うことについて検討していく。 ・令和4年度は、結果を参考にして「就学前教育実践の手引き」の改訂を行い、幼小連携と就学前教育の充実を図る必要がある。 		

<p>小中一貫教育推進事業 学校教育課</p>	<p>・小中一貫教育推進協議会を1回実施し、大学教授からの指導助言を得ながら、各中学校区の課題に応じた指導計画の進捗確認を行った。</p>	<p>・引き続き、中学校区ごとに9年間を見通して一貫した取組ができるよう定期的に協議することで、各中学校区の課題に応じた指導計画を策定し、小中一貫教育を充実させる。</p>
-----------------------------	---	--

分野	教育	施策	学校教育
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ P89

施策の展開（大項目）	3健やかな体を育む教育					
KPI (指標)	全国体力・運動能力・運動習慣等調査の体力合計平均点の対全国比					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	小中学校男0.96 小中学校女0.94	—	小中学校男0.94 小中学校女0.94		小中学校男1.00 小中学校女1.00
KPI (指標)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2・男女別）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	男67.0%、女45.8%	—	男59.8%、女46.5%		男69.5%、女51.2%

中項目	1運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着		分野計画参照ページ	P15
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
小中学校給食事業 教育政策課	・えいようだよりや学校給食通信を定期的に発行するとともに、給食の新献立・共通献立等を実施した。		・日常生活の食事についての理解を深め、栄養についての関心を高めるため、引き続き各種取組を実施する。	
教育課程研究事業 学校教育課	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査の結果から実態把握や分析を行った。		・担当者会での体力向上、運動習慣や生活習慣の改善に関する好事例の共有や指導主事による学校訪問等を行い、子どもたちの運動への興味関心の向上を図る。	

中項目	2学校体育と部活動の推進		分野計画参照ページ	P15
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
教育課程研究事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から実態把握や分析を行った。 ・中学校の部活動に対して財政的な支援を行うとともに、学校教育相談員による生徒の健康や安全、体罰禁止等に留意した巡回指導を実施した。 ・市内中学校へ、部活動指導員5人（前年度比-1人）を派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から実態把握や分析を行い、子どもたちの体力向上に向けた授業改善を行う。 ・中学校の部活動は、市内部活動のガイドラインに沿った活動ができていた。 ・部活動指導員による専門的な指導により、生徒の技術向上及び安全な活動につながっている。 ・引き続き、学校教育指導員による巡回指導や、部活動指導員による部活動の支援を実施していく。 		

分野	教育	施策	学校教育	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P89

施策の展開（大項目）	4社会を生き抜く力を育む教育				
KPI (指標)	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合（小6・中3平均）【★】				
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果
	増加	70.4%	—	67.2%	
					目標値(令和7年度)
					74.7%

中項目	1新たな教育の推進		分野計画参照ページ	P17
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
英語教育推進事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1年生から6年生を対象に、大阪府教委が作成した4技能（聞く、読む、話す、書く）の育成を図るプログラム「DREAM」（DVD）を活用した学習を行った。 ・外国語活動支援員を小学校全校に派遣し、教員の授業づくりへの助言や支援を行うとともに、外国語活動及び外国語の授業づくりのための研修を実施した。 ・中学3年生を対象とした英検検定料の全額補助を行い、結果は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■受験者：671人中289人（43.1%） ■4級合格：20人（前年度比－5人） ■3級合格：83人（前年度比－4人） ■準2級合格：19人（前年度比＋4人） ■2級合格：12人（前年度比＋11人） ・各小学校でEnglish Dayを1日設定し、通常1校に1人配置のALTを集め、ゲーム等を通じた英語によるコミュニケーションや、昼休みの放送を活用したりスニング力向上に取り組んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定2級の合格者が大幅に増加しているため、引き続き、教員の英語に関する指導力向上を図るとともに、児童生徒が英語に触れる機会を提供していく必要がある。 	
小学校中学校教育用コンピューター事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング的思考の向上を図るため、ICT教育推進リーダー教員を中心に指導力向上のための研修を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員に対し研修を実施するとともに、好事例を発信するなどし、授業力の向上を推進する。 ・新たにプログラミング教材を整備し、プログラミング教育を推進する。 	
教育課程研究事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・市の防災タウンページの活用等を通じた防災教育の授業や体育館を避難所とする訓練を実施するなど、各校が工夫を凝らして防災教育の授業を実践した。 ・キャリア教育推進委員会を設置するとともに、各中学校区でキャリア教育全体指導計画を策定し、関係機関の支援を得ながら、小中学校9年間を見通したキャリア教育の推進を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童・生徒の意識高揚及び理解促進に向け、防災教育の授業等を実践していく。 ・引き続き、キャリア教育推進委員会にて、9年間のキャリア発達を支援していく。 	

分野	教育	施策	学校教育	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P89

施策の展開（大項目）	5ともに学び育つ教育					
KPI (指標)	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒(割合)の対全国比					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	小学校0.89、中学校0.95	—	小学校0.80、中学校1.00		小学校1.00、中学校1.00
KPI (指標)	「学級みんなで話し合っ決めて決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」と肯定的回答をした児童生徒の割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	74.7%	—	—		83.5%

中項目	1支援教育の推進		分野計画参照ページ	P19
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
特別支援教育推進事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の児童生徒理解やアセスメント力、個に応じた適切な指導を実践する力を向上させるため、特別支援教育推進員を小中学校に79回（前年度比-3回）派遣し、助言した。 ・特別支援教育に対する保護者の理解を深めるため、「就学相談リーフレット」を作成し配付した。 ・補聴援助システム「ロジャー」を活用し、補聴器を使用する児童の学校における自立活動を支援した。 ・支援学級における支援教育の充実のため、府立支援学校と連携し、研修や巡回相談等を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級の担任にも特別支援教育の視点を持った指導力を備えることが大切である。市センター指導主事等の研修や巡回相談による助言を通して、教職員の専門性や指導力の向上を図る。 ・就学前後の切れ目のない支援を図るため、「摂津市特別支援教育ガイドライン」に基づく取組等を就学前施設等の関係機関と共有する。 ・「ロジャー」を活用することで対象児童から「教員の話聞き逃すことなく学習できるようになった」等の意見があり、有効性は高いと考えられる。 ・引き続き、三島地区内の府立支援学校との連携強化に努め、支援教育の充実を図る。 	

中項目	2相談体制の充実		分野計画参照ページ	P19
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
教育相談事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の学校生活や子育て等に関する相談2,148件（前年度比+360件）に対応した。 ・教育センターに心理相談員を常時2人程度配置し、保護者等からの教育相談2,023件（前年度比+1,106件）に対応した。 ・スクールカウンセラーや、各小中学校からの要請に応じ派遣した心理相談員が、小学校のケース会議に1,893回（前年度比-8回）参加した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーへの相談は、不登校や心に関すること等に関することが多い傾向にある。 ・教育センターの心理相談員への相談件数が急増しているが、特に教育センター内の適応指導教室の利用者が、相談するケースが増加した。 ・スクールカウンセラーや心理相談員の参加する小学校のケース会議は、不登校や心に関すること等に関することが多い傾向にある。 ・引き続き、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を行っていく必要がある。 	

就学児指導事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学に向け、不安を感じる保護者からの就学相談101件（前年度比+13件）に対応した。 ・教育支援会議を136件（前年度比+10件）開催し、教育関係者や福祉関係者、医師等の委員から適切な就学先決定や支援内容について助言を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学級に在籍する児童生徒の数は年々増加傾向である。 ・引き続き、児童生徒にとって適切な学びの場が選択されるよう就学相談等に取り組む。
進路選択支援事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択の支援として、教育センターパンフレット及び奨学金制度案内を作成し、中学2・3年生に配付した。 ・奨学金制度の問い合わせ及び進学資金の相談計41件（前年度比-7件）に対応した。 ・中学校で実施される進路説明会において、各校で2回、出張相談会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、進路選択に関して必要な情報を保護者や生徒に周知するよう努める。

中項目	3生徒指導の充実		分野計画参照ページ	P19
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
生徒指導体制推進事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区に1人、計5人のスクールソーシャルワーカー（SSW）を週4日配置し、計405件（前年度比-33件）のケース会議を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校や児童虐待、家庭環境等についての相談が多い傾向にあるため、引き続き、家庭、学校及び家庭指導相談課等の関係機関との連携を強化し、支援を必要としている家庭と福祉サービスをつなげていく。 ・SSWへの相談が増加傾向にあるため、現状整理、ケースの選定、緊急的な支援を担うチーフSSWの配置を検討していく必要がある。 		
教育相談事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の学校生活や子育て等に関する相談2,148件（前年度比+360件）に対応した。 ・教育センターに心理相談員を常時2人程度配置し、保護者等からの教育相談2,023件（前年度比+1,106件）に対応した。 ・スクールカウンセラーや、各小学校からの要請に応じ派遣した心理相談員が、小学校のケース会議に1,893回（前年度比-8回）参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーへの相談は、不登校や心に関すること等が多い傾向にある。 ・教育センターの心理相談員への相談件数が急増しているが、特に教育センター内の適応指導洋室の利用者が、相談するケースが増加した。 ・スクールカウンセラーや心理相談員の参加する小学校のケース会議は、不登校や心に関すること等が多い傾向にある。 ・引き続き、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を行っていく必要がある。 		
適応指導教室事業 教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な要因によって登校しづらくなった児童生徒17人（前年度比+5人）を、再登校や社会に出ることを目標として適応指導教室で支援し、6人（前年度比+4人）が進学するとともに、4人（前年度比+4人）が所属校に登校した。 ・適応指導教室に通室する児童生徒に対し、教育指導嘱託員や学生などの有償ボランティアであるさわやかフレンドが学習支援を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室でのソーシャルスキルトレーニングや学習支援が、再登校や進学の一因となったと考えられる。 ・引き続き、再登校等のそれぞれの児童生徒にとって適切な目標に向け、支援を行っていく。 ・学校復帰のためには、所属校の教員との連携が必須である。児童生徒の状況や対応についてきめ細やかに共有を行う。 		

分野	教育	施策	学校教育	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略 参照ページ	P89

施策の展開（大項目）	6安全安心で快適な教育環境づくり					
KPI (指標)	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	—	—(アンケート実施なし)	87.0%		

中項目	1教育施設の整備		分野計画参照ページ	P31
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
小中学校施設改修事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> 改修計画に基づき、鳥飼北小学校のトイレを洋式化するとともに、トイレ内の段差解消等の改修工事を実施した。 令和2年度から令和7年度までの6年計画に基づき、味生小学校、第二中学校及び第三中学校の照明器具をLED化した。 令和3年度から7年度までの5年計画に基づき、鳥飼北小学校及び第三中学校の体育館への空調設備導入に係る実施設計を行った。 千里丘小学校の児童数増加への対応に向けた基礎調査と基本構想案を策定し、改築案の方向性を決定した。 		<ul style="list-style-type: none"> 改修工事後のトイレ環境の長期的な保全に向けて、定期的な特殊清掃の実施等が必要である。 令和7年度を目途に全小中学校の体育館へのエアコン設置完了に向け、設置工事、実施設計を計画的に行う。 35人以下学級の実現に向けて、将来的に普通教室数が不足する学校がある学校への対策を検討する。 千里丘小学校の建替えに係る基本設計及び実施設計を行う。また、仮設校舎設置時の給食や普通教室の確保などの課題を整理する必要がある。 	
小中学校通学区事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼地域における通学区等基礎調査を実施し、学校規模及び配置の適正化を検討するための報告書を作成した。 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校通学区等審議会を設置し、鳥飼地域における学校の適正規模及び配置について検討する。また、審議会での検討内容を基に、教育委員会としての方針を決定する。 	
公民館施設改修事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 7月に安威川公民館において外壁等改修及び照明器具・空調機設備更新の大規模改修工事が完了した。 安威川公民館において高圧受変電設備及び舞台音響設備を更新するとともに、音楽室等天井修繕及びエントランス庇天井修繕工事を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 全ての市立公民館は築30年を超え老朽化が進んでいることから、公共施設の長寿命化等を踏まえて更新や改修を検討していく必要がある。 大規模改修や建て替え時には、施設の再編や多目的及び多機能化の協議・検討が必要である。 	
図書館施設管理事業 鳥飼図書センター施設管理事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼図書センター玄関自動ドアの改修工事を実施した。 市民図書館エントランス庇のシーリング工事及び天井修繕工事を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全安心な読書環境づくりを進める。 	

中項目	2感染症の予防・対策		分野計画参照ページ	P31
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
小中学校保健事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> 市内の公立幼稚園及び小中学校において、「学校欠席者情報収集システム」を用い情報集約し、集約した感染症情報を各校に発信した。 新型コロナウイルス感染症予防備品として、サーキュレーターや加湿器を普通教室及び特別教室に設置した。また、茨木保健所や関係課等と連携し、学校において新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各学校の状況に応じて必要な感染症対策備品等を整備する。 引き続き「学校欠席者情報収集システム」を活用した情報集約及び感染症情報を発信する。 		
小中学校施設運営事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> 業者によるトイレ清掃を週1回全小中学校で実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の業者による清掃だけでは、感染予防及び快適なトイレ環境を維持することが難しいため、学校での定期的な清掃等対策が必要である。 		
学校マネジメント支援事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 全小中学校にスクールサポーターを配置し、各校における検温や消毒作業等を補助した。 	<ul style="list-style-type: none"> スクールサポーターと教職員の協働により、学校内の消毒作業を丁寧に実施していくなど感染症対策を実施し、引き続き新型コロナウイルス感染予防に努める。 		

中項目	3学校給食の安全衛生管理		分野計画参照ページ	P31
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
小学校給食事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校に調理室内で視聴できる衛生管理に関するDVDマニュアルを配付し、抜き打ちでの各調理場ふき取り検査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、抜き打ちのふき取り検査や定期的な研修を実施し、手洗い消毒など小学校給食調理場での衛生管理の徹底に取り組む。 		
中学校給食事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> 全員喫食に向けた給食センターの設置について、候補地の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度末の喫食率は6.5%（前年度比+0.4%）であったが、目標喫食率（10%）との乖離が大きいため、喫食率向上に向けた取組を進める必要がある。 全員喫食の実施に向けた給食センターに関する課題の整理及びスケジュールの作成が必要である。 		

分野	教育	施策	学校教育	
分野計画名称	教育振興基本計画		行政経営戦略参照ページ	P89

施策の展開（大項目）	7地域全体で教育に取り組む体制づくり					
KPI（指標）	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した割合（小中学校）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	80.0%	—	46.7%		

中項目	1学校・家庭・地域との連携強化		分野計画参照ページ	P33
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
学校マネジメント支援事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 学校協議会で学校協議員から出された学校における教育活動についての意見を踏まえ、各校の学校運営が実施された。 全小中学校・幼稚園・保育所が、経営計画に挙げた項目ごとに自己評価を行い、令和4年度のプランに教職員の育成や働き方改革等を反映した。 広報紙に、児童生徒の活躍、それを支援する教員の様子を複数回掲載した。 Webページや動画（YouTube）を活用して市の取組を発信した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校経営計画や学校自己診断、各種調査結果を報告することで説明責任を果たし、家庭や地域との連携協力につなげ、学校運営の改善と発展をめざす。 令和4年度より、モデル校に学校運営協議会を設置し、地域とのより深い連携の推進を研究する。 引き続き、年度毎に学校経営計画に基づく学校評価を実施・公表し、家庭・地域の意見も踏まえながら、学校運営の改善や教育水準の向上に努める。 GIGAスクール等の最新情報をわかりやすく発信したことで、日頃の教育活動に理解と協力を得られた。 引き続き情報発信に努め、学校、家庭、地域の総合的な教育力の向上を図る。 	
地域学校連携活動支援事業 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> すこやかネットでの取組として、子どもたちの登校時の安全を確保するため、地域やPTAの方の協力を得ながら通学路等での見守り活動を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き家庭、地域の方の協力のもと、学校、家庭、地域が連携しながら、安全・安心なまちづくりを目指した活動を行う。 	

中項目	2子どもの安全見守り活動の充実		分野計画参照ページ	P33
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
安全対策事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の受付員を平日のほか、休日に実施される運動会時にも配置した。 ・子ども安全巡視員による青色防犯パトロールカーでの防犯活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付員の配置及び青色防犯パトロールカーでの巡回等により、学校園への不審者侵入件数は0件であった。 ・引き続き、学校園への受付員の配置及び子ども安全巡視員による防犯活動を実施するとともに、学校園へのヒアリングを実施し、事業の見直しを検討する。 		
スクールガード・リーダー配置事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における子どもたちの安全を確保するためスクールガード・リーダーを7名（前年度比±0名）配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、全中学校区に登下校時を中心に校区を巡回するスクールガード・リーダーを配置し、PTAや、民生委員、自治会など、地域と一体となった見守り体制を構築することで、児童生徒の安全を守っていく。 		
地域子ども安全安心事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども110番の啓発物品として新小学1年生の保護者に自転車の前かごカバーを配布した。 ・子ども110番の家の啓発物品として、各小学校PTAに旗、タペストリーを配布した。 ・子ども110番の家の協力者数は1,407件（前年度比-54件）となった。 ・見守りボランティアは10人（前年度比+1人）となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加や日中在宅世帯の高齢化等により、子ども110番の家の協力者数は減少傾向にある。 ・PTA等「子ども110番運動」の推進団体と事業の必要性を啓発していく必要がある。 ・見守りボランティアの参加者増加に向け、ホームページへの掲載等で活動の周知を行う。 		
小中学校通学区事業 教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所について、改善要望があった63箇所中23箇所に電柱幕設置や路面標示復元等を行った。 ・市内25箇所に交通専従員を配置し、登下校時の交通安全を確保するため、児童の見守り活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係課及び関係機関と連携し、危険個所の改善に取り組む。 		